

# 地域防災拠点を推進させる町内会館を視察

地域避難施設に認定。過去を伝える・未来に備える

11月12日（金）に、宍倉稲毛区長が山王町西町内会を訪問し、地域住民の避難運営における地域防災拠点への取り組みについて、話を伺いました。

山王町西町内会 会長 蒲生 忠由 様

「安全で安心な住みよい町にしよう」を町内目標に①防災防犯②環境美化③隣り近所の支え合い④健康文化活動参加を実践しています。

市より防災拠点として「地域避難施設認定」を受けて、防災倉庫・非常用インバーター発電機2台・井戸ポンプ・デジタル防災受信機を備え安否確認訓練や稲毛消防署指導のもと小型ポンプ放水消火訓練を実施しています。非常用備蓄品のうち、そうめん等は夏休

み親子ペットボトルロケット大会  
そうめん流し大会で消費し新規備蓄しています。ホールでは先頃区役所主催のパソコンアプリ ZOOM による WEB 自治会講演会をプロジェクター投影し受講しました。資源物集団回収や夏季及び年末防犯パトロールを千葉北警察署と多数の会員協力で積極的に実施しています。

広い敷地が特徴の町内会館。山王ふれあい公園に隣接し、町内会だけでなく、広域連携の活動拠点にも力を入れています。

過去を振り返り、新たな時代を見据えた「共助」の推進に、御礼申し上げます。（稲毛区地域振興課くらし安心室より）



山王ふれあい公園内の  
ふくろうモニュメントを製作



## 地域避難施設認定制度とは

町内自治会集会所等をあらかじめ「地域避難施設」として認定することで、災害時に、「地域の避難先」として、町内自治会等が自主的に開設し、最寄りの指定避難所と連携して避難者の受け入れ等をおこなうことができるようにする制度です。

町内自治会等からの申請に基づき、一定の要件を満たす町内自治会集会所等を「地域避難施設」として認定するとともに、認定施設への備蓄品等の配備を行います。

<https://www.city.chiba.jp/somu/kikikanri/bosai/tiikihinansisetu.html>

## 町内会館の様子

### 《多くの避難者を受入れる広い芝庭》

屋外避難所の確保も重要。ペットやテント泊など様々なケースに対応可能です。



### 《地域住民への安全宣言》

地域活動写真や「認定書」を掲示し、地域住民への啓発に取り組んでいます。



### 《災害活動用品も充実》

避難者を支援する側の安全確保も重要。夜間活動に配慮した用品の数々。



### 《備蓄品は床下に保管》

温度が一定の床下収納。備蓄品を行事等で定期的に消費し、ローリングストックを実施



### 《訓練記録をスクリーン上映》

過去の山王地区合同避難訓練を映像で保存。映画作品の様な訓練記録でした。



### 《区長との意見交換》

住民の防災意識の高まりや、避難所運営課題と市の支援施策について意見交換。



**お知らせ** 山王町西町内会自主防災会の齋藤会長(前町内会長)の地域活動の功績が認められ、令和3年9月30日に「全国防犯功労表彰」が授与されました。誠にありがとうございます。今後ともご活躍を期待いたします！ 稲毛区長 宍倉和美